

船井情報科学振興財団 留学報告書

林 佑明

2021 年 8 月

カーネギーメロン大学言語科学研究所博士課程 (CMU, LTI) に所属する林です。相変わらず自宅勤務生活が続いています。

1 近況報告

1.1 ワクチンとホームオフィス

数ヶ月前についにコロナウイルスのワクチンを打ちました。ピッツバーグでは段階的に接種対象年齢が下げられ、5 月ごろに予約開始となったため即座に予約して接種を終えることができました。おかげで大学に申告したスケジュールで戻ることができるようになりましたが、他の奨学生の方同様私もリモートワークに慣れてしまったので、週の大半は自宅から研究をしています。といっても自宅の環境は最適なわけではありません。私は昔から「向かい・隣で大規模な建設が行われる」運がとても強く、アメリカでもそれを発動してしまいました。そのため基本的に平日の朝 8 時前から工事の音が響きます。ミーティング中は特に騒音を遮断しないといけないため、窓を閉め切り換気もよくできないエアコン漬けの生活になってしまいました。どうしようもないですね。

1.2 ペットの急病

話は変わり、先日うちの猫の調子が悪くなりました。これまで体調を崩すということがなかったのでかかりつけの病院がなく、加えてコロナウイルスの影響で新規患者を受け入れる動物病院がほぼ見つからず、しかたなく救急の動物病院につれていきました。特に大事には至らず無事調子も戻りましたが、生きた心地がしませんでした。それに加え、レントゲン・胃カメラ等の一つ一つの検査が（予想通り）とても高く、アメリカのペットの医療事情も厳しいものだと実感しました。

1.3 からあげ専門店

日本に帰ったときに食べずにはられない料理はそう多くはありません（例：パリッとジューシーなソーセージ）、なぜなら材料を揃えることができればなんとか作れるからです。今年の上半期に作った料理で一番美味しかったのは唐揚げでした。もも肉を一度軽く揚げ、醤油ベースの水溶き片栗粉にもう一度漬け

て揚げると、外サクサク中ジューシーの完璧な唐揚げが出来上がり、レストランをいつ開こうかと思わず考えてしまいました。

2 研究など

前回の報告書ではプロポーザルを終えたことを書きましたが、それを経て現在は卒業（ディフェンス）に向けて大忙しです。プロポーザルで新たに挙げた2つの研究テーマは当時の計画通りには進みませんでした。なんとか一区切りつきました。今後も改善できる箇所を直していきますが、一旦はディフェンスの準備です。最近博士論文に向けてだいぶ昔の論文を読んだりしています。万事順調とはいきませんが、無事に終わられるようにしっかり精進していきたいです。

3 おわりに

今年の後半は卒業を控えているので、間違っても体調を崩さないように気をつけていきたいです。